

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(舞阪中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 令和6年度の学校運営の基本方針をふまえ、また、授業参観等で子供たちの実態もふまえながら、よりよい支援活動を行っていきけるように熟議していく。
- 地域とのかかわりをいっそう深め、子供たちの自立力や生きる力、命を大切にする心などを育てていく支援活動を行っていく。(職場体験、学習ボランティア、地域の祭典、地域防災など)

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長先生からの説明を聞き、各委員が率直に質問したり積極的に意見を述べたりし、十分に時間を掛けて熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

授業参観や防災訓練の見学を通して課題をつかみ、改善のための熟議を進めることができた。また、少子化が進む状況を踏まえて、部活動についても深い議論を行うことができた。ただ、今までの支援活動についてその効果を振り返り、継続を含めて検証する機会も必要ではないかと考える。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校運営協議会が発足して4年が経過したが、CSについての認知度はまだまだ低い。学校ホームページでの協議会の様子についての発信や学校だよりの掲載に加え、CSだよりの「しおなり」の発行とさくら連絡網での配信、さらに地域での回覧を行い、少しずつ情報発信をしている状態ではあるが、十分な発信とは言えない状況にある。今後は、CSだよりの中身をいっそう充実させるなどしていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 今までの取組の評価をふまえ、また、授業参観等を通してつかんだ子供たちの実態をふまえて、よりよい支援活動を行っていきけるよう熟議していく。
- 学校と地域との橋渡しとなり、互いのかかわりをいっそう深めるための支援活動やその方法について熟議を行う。(防災教育、休日の部活動の地域移行、職場体験、学習ボランティア、町内行事など)